

第 43 回薬剤師実践塾 (研修報告)

日 時:平成 30 年 1 月 28 日(日)13:00~17:00

場 所:神戸薬科大学地域連携サテライトセンター

テ ー マ:第 3 回症例検討会

薬剤師の役割 -薬剤師は何をなすべきか-

受講資格:現役薬剤師

受講者数:20 名

【研修内容】

- ・ケーススタディー
- ・薬剤師の職能の変遷
- ・ガイドラインにおける推奨の決定
- ・薬・治療の効果を評価する指標
- ・臨床研究の種類と信頼性



神戸薬科大学 生涯研修事業委員
長嶺 幸子 先生



本日の SGD は 4 グループです。



ケーススタディー
患者さんの処方箋を診て思うことは何でしょう？

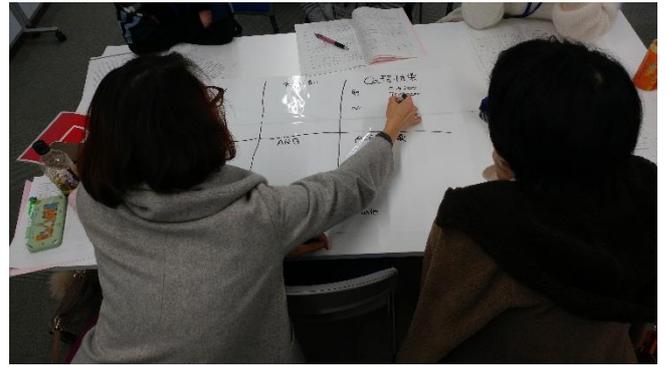
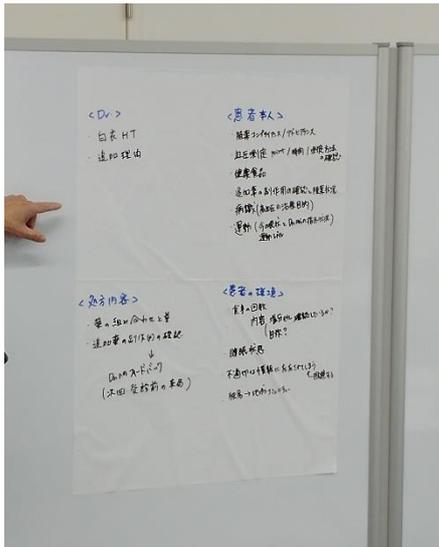
処方薬

降圧薬:ARB 受容体拮抗薬+Ca 拮抗薬、
ループ利尿薬、 $\alpha 1$ 受容体遮断薬





講師を交え SGD を進め、グループ別に発表を行います。



有機化学が専門の宮田 興子特別教授から処方薬の構造式について講義があった。

<アンケートより抜粋>

- ・今回のような症例などで、どのように減薬していけるのか。
- ・薬物治療の指標については、忘れていたところもあるので勉強になった。
- ・検査データについて研修を受けたい。
- ・多職種との意見交換。
- ・介入を行うには、薬物動態や薬理、疾患の知識が必要となるので、それらの情報の講義を受けたい。
- ・構造式は普段考えないので、考えさせられた。

etc...